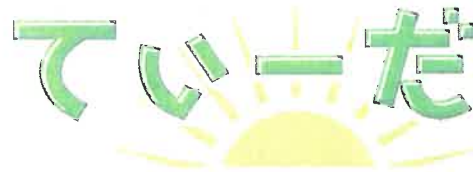


2022年(令和4年)12月10日

土曜日

就労継続B型おきなわ工房

真栄城 美夢さん



第26回育成会文化祭りの陶芸部門で、銀賞を獲得した就労継続B型おきなわ工房の真栄城美夢さん(27)「うるま市」は「もうちょつとリアルに作りたいかった」と創作意欲を一層膨らませた。陶芸だけでなく、絵も

描く。「来年は写真で応募したい」と目標を語り、多彩に芸術を磨いていく。受賞作品は「魚を捕まえサメ」という題名。「賞

光る感性 芸術に熱中

を取れると思っていなかった。うれしい。両親も喜んでくれた」と誇らしげだ。陶芸に挑戦したのは今回が初めてだった。

作品ではサメが魚をくわ

えている場面を再現した。

サメが出てくる映画などを参考にした。胸びれや背び

れ、サメの歯まで細かく形作った。迫力を出すために傷も付けた。

鋭い目つきを表現しよう

と思ったが難しく、丸い目

に変更したが、粘土を重ねて立体的にするなど工夫や修正を重ねた。「本当は2

体の作品にしたかった」

「イルカやシャチも作りたい」と賞を取っても作品の

改良に意欲を見せた。

昔から絵を描くことが好

きだった。ネコやウサギ、

好きなキャラクターをよく

描いていた。裏には「美夢

作」とのサインも入れる。

自作の絵をプレゼントした

友人や職員から褒められる

ことも多い。

中学時代には絵や習字で

表彰を受けたこともある。

アイロンビーズでコースタ

ー作りもする。「できない

こともあるがいろんなこと

を少しずつやっている」と

挑戦を続けている。

同い年の利用者は写真部

門で金賞を取った。「写真

もやってみたい」と来年は

写真で金賞を狙う。「これ

からもいろんな物を作りたい

」と笑顔を見せた。

(金盛文香)

「これからもいろんな物を作りたい」と陶芸を手に笑顔を見せる真栄城美夢さん。後ろは自作の絵画＝8日、沖縄市のおきなわ工房

